



報道発表資料の配付日時 3月5日(金) 14時00分

発表項目 (行事名)	道内における雪による人的被害状況について																																
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者																															
		発表場所																															
概要	<p>○ 被害状況</p> <p>令和2年11月1日から令和3年2月28日までに発生した北海道内における雪による人的被害の状況は、別添資料のとおりです。</p> <p>なお、前回集計時点で症状が確定していなかった9名の追加修正を行っております。(重症+5名、軽傷+4名、死傷者計+9名)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>死者</th> <th>重傷</th> <th>軽傷</th> <th>死傷者計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3.2.5 (前回集計分)</td> <td rowspan="2">13名</td> <td>(72名)</td> <td>(165名)</td> <td>(250名)</td> </tr> <tr> <td>今回追加修正</td> <td>↓ 77名</td> <td>↓ 169名</td> <td>↓ 259名</td> </tr> <tr> <td>R3.3.5 [今回集計分] (累計)</td> <td>19名</td> <td>116名</td> <td>216名</td> <td>351名</td> </tr> <tr> <td>前回からの増</td> <td>+6名</td> <td>+39名</td> <td>+47名</td> <td>+92名</td> </tr> <tr> <td>[昨年同時期] (差)</td> <td>3名 (+16)</td> <td>25名 (+91)</td> <td>69名 (+147)</td> <td>97名 (+254)</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ ホームページでの公表</p> <p>北海道のホームページでも速報として公表します。</p> <p>北海道のホームページアドレス http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sm/ktk/bsb/yukihigaizyokuyou.htm</p>				区分	死者	重傷	軽傷	死傷者計	R3.2.5 (前回集計分)	13名	(72名)	(165名)	(250名)	今回追加修正	↓ 77名	↓ 169名	↓ 259名	R3.3.5 [今回集計分] (累計)	19名	116名	216名	351名	前回からの増	+6名	+39名	+47名	+92名	[昨年同時期] (差)	3名 (+16)	25名 (+91)	69名 (+147)	97名 (+254)
区分	死者	重傷	軽傷	死傷者計																													
R3.2.5 (前回集計分)	13名	(72名)	(165名)	(250名)																													
今回追加修正		↓ 77名	↓ 169名	↓ 259名																													
R3.3.5 [今回集計分] (累計)	19名	116名	216名	351名																													
前回からの増	+6名	+39名	+47名	+92名																													
[昨年同時期] (差)	3名 (+16)	25名 (+91)	69名 (+147)	97名 (+254)																													
参考	<ul style="list-style-type: none"> ・2月末までの被害の発生件数が過去5年間で最多となっています。 ・雪下ろし・除雪による事故が全体の約9割を占めています。 																																

報道(取材)に当たってのお願い	当課において、別添のリーフレットを作成し、道民の皆様に対し、除雪などによる被害防止を呼びかけています。報道の皆様におかれましても、事故等防止に向けて一層の注意喚起について御協力をお願いします。	
他のクラブとの関係	同時配付	(場所)
	同時レク	

担当 (連絡先)	総務部危機対策局危機対策課 (担当者: 課長補佐 小原) TEL ダイヤルイン 011-204-5900 内線 22-554
-------------	---

雪による被害状況(北海道)

※令和3年2月28日までの速報値であり、後日変更となる場合があります。

令和2年度北海道雪害対策連絡部
 (事務局:北海道総務部危機対策局危機対策課)
 連絡先: 災害応急対策係(ダイヤルイン)011-204-5900
 内線:22-554 課長補佐 小原

1 被害の状況 (1)主な被害状況

振興局名	人的被害(人)			
	死者	行方不明	重傷	軽傷
空知総合振興局	8		26	73
石狩振興局	1		13	27
後志総合振興局	5		24	22
胆振総合振興局				
日高振興局				
渡島総合振興局			1	2
檜山振興局				
上川総合振興局	3		39	66
留萌振興局			3	9
宗谷総合振興局			5	2
オホーツク総合振興局	1		4	6
十勝総合振興局	1			5
釧路総合振興局				4
根室振興局			1	
計	19		116	216
死傷者合計			351	

※ 月別被害状況

	死者	行方不明	重傷	軽傷
11月				
12月	5		38	73
1月	8		39	96
2月	6		39	47
3月				
計	19		116	216
死傷者合計			351	

(2)死者の発生状況

市町村	年月日	年齢	性別	概況
深川市	令和2年12月15日	69	男	除雪機の下敷きになった。
岩見沢市	令和2年12月22日	84	男	落雪に巻き込まれたものと推定。
岩見沢市	令和2年12月22日	59	女	落雪に巻き込まれたものと推定。
鷹栖町	令和2年12月22日	71	男	自宅建物に梯子をかけ、屋根葺きの除雪作業中に屋根若しくは梯上から落下し、心肺機能停止状態になったもの(目撃者はなく事故状況は推定)
岩見沢市	令和2年12月25日	88	男	落雪に巻き込まれたものと推定。
岩見沢市	令和3年1月4日	87	男	屋外で倒れているのを家族が発見し、消防隊到着時心肺停止状態であった。近くに梯子が倒れており、除雪中の事故と推定。
小樽市	令和3年1月5日	84	男	屋根からの落雪(幅5m×奥行3.6m×高さ0.4m・推定)により男性1名が雪に埋まっているのを発見されたもの
余市町	令和3年1月8日	71	男	車庫の雪下ろし作業中、屋根の雪が落ち下じきになったもの
帯広市	令和3年1月9日	79	男	除雪中の屋根からの転落の疑い。
旭川市	令和3年1月17日	81	男	傷病者宅の敷地内で雪に埋まって足だけ出ているところを発見されたもの。
岩見沢市	令和3年1月20日	37	男	屋根の雪下ろし中に高さ約6mから転落したもの。
岩内町	令和3年1月21日	90	女	自宅屋根の雪下ろし作業中、屋根から転落。病院搬送後、容態急変し、死亡。
旭川市	令和3年1月24日	78	女	屋外で倒れていたのを発見。付近のスコップ、梯子及び傷病者の恰好から除雪中であった可能性が高い。
岩内町	令和3年2月5日	71	男	自宅前を除雪中、倒れているのを発見され、病院搬送後、死亡確認。
滝川市	令和3年2月7日	71	男	除雪作業中に融雪槽に転落したもの。
倶知安町	令和3年2月10日	43	男	従業員寮の屋根の除雪中に転落
当別町	令和3年2月14日	68	男	除雪作業中に屋根の上で倒れており、意識呼吸無かった。
美幌町	令和3年2月20日	88	男	落雪によるもの
三笠市	令和3年2月24日	74	男	除雪中に自宅近くで倒れ、心肺停止になったもの

※ 過去10年の雪害での死傷者数

	死傷者合計	死者	行方不明	重傷	軽傷
H22.11.1~H23.3.31	309	23	—	124	162
H23.11.1~H24.3.31	494	31	—	203	260
H24.11.1~H25.3.31	515	33	—	164	318
H25.11.1~H26.3.31	395	17	—	154	224
H26.11.1~H27.3.31	279	14	—	113	152
H27.11.1~H28.3.31	252	11	—	93	148
H28.11.1~H29.3.31	180	15	—	70	95
H29.11.1~H30.3.31	346	22	—	130	194
H30.11.1~H31.3.31	295	13	—	97	185
R1.11.1~R2.3.31	119	4	—	27	88

(3)被害の発生内訳

原因	人数	割合
屋根転落	119 人	33.9%
はしご転落	67 人	19.1%
落氷雪	50 人	14.2%
除雪機	16 人	4.6%
その他	99 人	28.2%
計	351 人	100.0%

年齢構成	屋根転落	はしご転落	落氷雪	除雪機	その他	全体	
	人数	人数	人数	人数	人数	内訳	割合
20歳以下	— 人	— 人	1 人	— 人	— 人	1 人	0.3%
21~54歳	24 人	10 人	13 人	6 人	16 人	69 人	19.7%
55~64歳	22 人	9 人	6 人	1 人	13 人	51 人	14.5%
65~74歳	37 人	23 人	10 人	5 人	19 人	94 人	26.8%
75歳以上	36 人	25 人	20 人	4 人	51 人	136 人	38.7%
計	119 人	67 人	50 人	16 人	99 人	351 人	100.0%



除雪などによる被害防止について

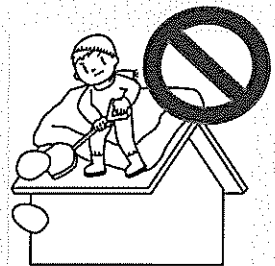
毎年、屋根からの転落や落雪(氷)による事故が多く発生しています。除雪などによる事故を未然に防ぐためには、日頃からの心がけが大切です。

除雪による事故から身をまもりましょう

～道内の雪による死傷者は、除雪作業中に最も多く発生しています～

◆ 屋根の雪下ろし

- 雪下ろしは、一人ではなく複数人で声をかけあって！
- 靴やはしごには滑り止めを、腰には命綱を着けて屋根の上での作業、はしごの上り下りには気をつけて！
- 晴れた日ほどご用心！屋根の雪と一緒に転落注意！



- 落とした雪の先に人がいないか、周囲を確認！
- 屋根の周りに雪をのこして雪下ろし！
- 万一に備え、携帯電話を身につけて！

◆ 除雪



- 健康に注意！ 無理な作業はしない。
- 服装に注意！ 巻き込まれない服装で。
- 除雪機のトラブルはエンジン停止！
- 除雪器具はこまめに手入れ、点検を。



雪による死傷者の半数以上が高齢者、約6割が雪下ろし中です！

～ 除雪中の事故の事例～

- 屋根の雪下ろし中に“屋根”や“はしご”から転落し、骨折した。
- 歩行中または除雪中に、屋根からの落氷雪で、生き埋めになった。
- 除雪機に手足が巻き込まれて、大けがをした。